



静岡市 いきもの 散歩マップ

小鹿の森公園コース

しょくぶつ

● ツククサ



7～9月に、青色の花を咲かせます。早朝に咲いた花は昼頃にしぼみます。人家付近の道ばたに多くみられます。

● ムラサキカタバミ



南アメリカ原産の植物で、庭や道ばたなどにたくさん生えています。3～8月、11～12月に、赤紫色の花を咲かせます。

● オカトラノオ



山地の陽当たりの良い原っぱに生えています。6～7月に、虎の尾のような、先が垂れ下がる房状の白い花を咲かせます。

● ヒヨドリバナ



ヒヨドリが山から下りてきて鳴くころに花が咲くことからこの名前がつけました。8～11月に、白い花を咲かせます。

● ドクダミ



6～7月に、白色の花を咲かせます。全体的に独特においがあり、薬やお茶に使われます。日かげの湿ったところに生えています。

● タチツボスミレ



よく見られるスミレの仲間、葉は丸みのあるハート型で、花はうすい青紫色です。

● アキノタムラソウ



シソの仲間で、林のまわりや草地に生えています。7～11月に、青紫～あわい紅色の花を咲かせます。

● アセビ



小さな木で、4～5月に、白色のツボ型の花をつけます。毒性の高い植物で、シカも葉を食べません。

● ノイバラ



バラの仲間の低木で、5～6月に、白色または薄紅色の花を咲かせます。野原や河川敷によく見られます。

● シヤガ



アヤメの仲間で、山地の林のまわりや道ばたに生えています。4～5月に、白色に少し紫がかった花を咲かせます。

● ホタルブクロ



キキョウの仲間で、釣り鐘のような形をした桃色の花を6～7月に、咲かせます。草原や山地に生えています。

● キブシ



小さな木で、3～5月に、あわい黄色の花をふさ状にたくさん咲かせます。

● カタバミ



ハート型の3枚の葉が1組になっています。春から秋にかけて黄色の花を咲かせます。実は熟すと弾けて種を飛ばします。

● コアジサイ



別名シバアジサイとも呼ばれ、明るい林内や、林のまわりに見られます。6～7月に、淡い青色のたくさんのおんなの花を咲かせます。

● ノコンギク



キクの仲間で、山地の林のまわりによく見られます。9～11月に、淡い紫色の花を咲かせます。

● リョウブ



主に尾根沿いに育つ落葉樹で、夏に白い房状の花を咲かせます。

アクセス情報



- 【バスでのアクセス】
1. しずてつバス静岡駅バスターミナル 8番乗り場より「美和大谷線 [34] 済生会病院経由」に乗車。
 2. 「静大片山」にて下車。徒歩約15分で小鹿の森公園。

緊急連絡先

- ・静岡県救急医療情報センター TEL&FAX:0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
- ・消防 119番
- ・警察 110番

注意事項

- ・ハイキングでの安全は自己責任をお願いします。季節に合わせた服装・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
- ・里山には、ハチやヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- ・コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
- ・動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
 発行者：静岡市環境創造課
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
 TEL:054-221-1319 FAX:054-221-1492
 制作年：令和2年2月

とり・どうぶつ

● キジバト



「デデッポー」と鳴き、首に青色をおびた灰色の模様があるハトです。山地だけでなく、平地や市街地でも見られます。

● エナガ



スズメより小さい鳥で、林や森などに住み、チーチー、チュリリと鳴きます。冬は群れて移動します。

● アオゲラ



全長30cmくらいの緑色のキツツキで「キョッ、キョッ」と鳴きます。木の皮の下の小虫をついて食べます。

● タヌキ



中型の哺乳類で、足が短く、ずんぐりしたからだつきです。雑食性で、小動物や果実などを食べます。

● ノスリ



中型のタカで、空中で風のように停止して、地上の餌を探します。翼の下面が白く、扇形の尾が特徴です。

● キビタキ



スズメより少し小さな鳥で、山地や里山の林にすんでいます。オスは喉が橙色で、胸からはらまでが黄色をしています。

● ヒヨドリ



全長28cmくらいで、全身が灰褐色、長めの尾を持っています。低地から山地の林や、市街地でも1年中見られます。

● イノシシ



雑食性の大型哺乳類で、丈夫な鼻で土を掘り返して、植物の根やミミズなどを食べています。農作物にも深刻な被害を与えています。

● ウグイス



よく知られた鳴き声は「ホーホケキョ」ですが冬には「チャッチャッ」と鳴きます。ヤブの中において姿を見るのは難しいです。

● ホオジロ



全長17cmくらいで、オスは高い木の上で「チョッピイ、チュ、チュチュリチュー」と鳴きます。

● ソウシチョウ



スズメ大の外来生物で、姿も声もいのですが、日本の鳥が追いやられる恐れがあります。問題となっています。

● ニホンカナヘビ



全長20cmくらいで、山地から人家まわりにすんでいるのでよく見かけられます。小さな虫やクモなどを餌にします。

● ルリビタキ



全長13～15cmくらいで、オスは尾と、頭から背中が青色をしています。冬に人里で見かけることがあります。

● シロハラ



スズメより大きな鳥です。冬に公園などで落ち葉をかきわけて、昆虫やミミズなどを探して食べます。

● ガビチョウ



冬鳥として渡来するカモの仲間で、池、河口、内湾などで見られます。頭の後ろに垂れ下がる冠毛が特徴です。

● アオダイショウ



全長1～2mになる本州最大のヘビで、全身褐色をおびたオリーブ色です。主に小型の哺乳類、小鳥を食べます。

むし

● エンマコオロギ



体長は2.5～3cmくらいの大きなコオロギで、畑のまわりの草むらにすみ、「コロコロリー」と鳴きます。

● アオマツムシ



中国が原産の緑色のコオロギの仲間で、体長は2～2.5cmです。夏の終わりから秋にかけて木の上で大きな声で鳴きます。

● オンブバッタ



緑色の大きなメスの背に小さなオスが乗っていることが多いです。原っぱなどで8～12月に、見られます。

● センチコガネ



体長は1.5～2cmくらいで、紫色や金剛などの金属光沢をした美しい虫です。腐葉土や動物の糞を餌とします。

● ジャコウアゲハ



はねを広げると10cmくらいのやや大型のチョウで、堤防や林周辺の開けたところで見られます。

● ナガサキアゲハ



10cmをこえる大型のチョウで、尾のような突起はありません。幼虫はミカンの仲間を食べます。

● サトキマダラヒカゲ



中型のチョウで、低い平地や里山の林にすんでいます。成虫は5～6月と7月下旬～8月にかけての2回発生します。

● コジャンメ



はねの裏に白色の帯と目玉模様が見られるのが特徴で、暗い森の中に見えています。成虫は5～9月に、見られます。

メモ

しずおか みんなの しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう

検索



静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)